

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、2015年度の基本方針に「2015年度中期経営計画の完遂」「次期中期経営計画に向けた成長戦略の推進」を掲げ、全社員が参加する「Pro-7活動」により「収益力のさらなる強化」を推し進めています。加えて、「ものづくり力の強化・原点回帰」を合言葉とした、国内生産拠点の再整備、国内への生産回帰に取り組んでいます。

当第1四半期決算においては、当社を取り巻く市場環境が国内外において緩やかな回復基調で推移するなか、前年同期に比べ増収増益を達成しました。コストダウン等の体質改善効果により、営業損益、経常損益、純損益*のいずれも前年同期を上回ることができました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年8月

富士電機株式会社
代表取締役社長

北澤通宏



2015年度経営計画

	2014年度(実績)	2015年度(予想)	2015年度 中期経営計画
売上高	8,107	8,500	8,500
営業損益	393	450	450
純損益*	280	290	—
ネットD/Eレシオ	0.5倍	0.5倍	0.7倍
自己資本比率	32%	33%	25%
ROA(総資産利益率)	3%	3%	3%
ROE(自己資本利益率)	11%	10%	14%

[2015年度重点施策]

成長戦略の推進

- ▶ 発電プラント、産業インフラ、パワエレ機器事業の拡大
- ▶ 海外事業の拡大
 - 国内マザー拠点の再整備と地産地消の推進
 - M&Aの実施
 - 現地完結型の海外事業会社構築

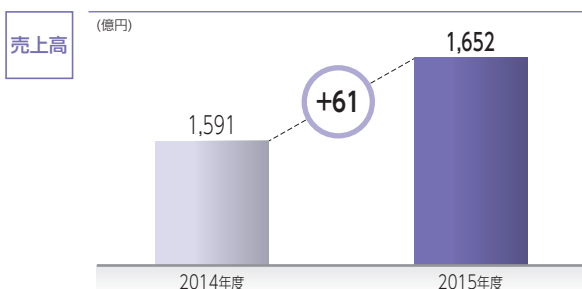
収益力のさらなる強化

「Pro-7活動」の推進

- ▶ 事業活動に伴うあらゆるコストをゼロベースで見直す
- ▶ ムダ・ロスコスト等の削減
- ▶ 業務品質の向上

第1四半期決算

前年同期に比べ増収増益を達成しました。



売上高は、需要増に加え、円安に伴う為替換算差による増収効果もあり、前年同期に比べ増収となりました。特にパワエレ機器において、国内での設備投資の持ち直しによるインバータ・サーボ、回転機などの需要増、および富士SMBEの新規連結影響などにより伸長しました。また、発電・社会インフラにおいて、火力・地熱発電設備の案件増、およびスマートメータの需要増により増収となりました。



営業損益は、主にコストダウン等の体質改善効果により、前年同期に比べ増益となりました。



純損益は、受取配当金の増加等による営業外損益の改善および投資有価証券売却益の増加等による特別損益の改善により増益となりました。

*会計基準の改正に伴い、従来の「四半期(当期)純損益」は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益」と表現が変更されましたが、本報告書においては「純損益」と表記しています。

上半期業績予想

第1四半期決算を踏まえ、上半期業績予想を上方修正しました。
 通期業績予想は前回発表(2015/4/27)と変更ありません。

上半期

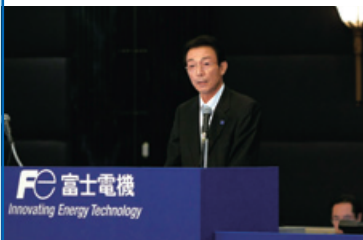
(億円)

	2014年度(実績)	2015年度(4/27予想)	2015年度(7/30予想)	増減 (7/30予想-4/27予想)
売上高	3,453	3,643	3,643	0
営業損益	59	60	60	0
純損益*	20	10	20	10

*前提為替レート 1ドル=115円、1ユーロ=125円

第139回 定時株主総会を開催

- ▶開催日時：2015年6月24日(水) AM10:00~11:21
- ▶開催場所：ウェスティンホテル東京
- ▶出席株主数：407名



6月24日、第139回定時株主総会を開催しました。当日は407名のご出席を賜り、第139期(2014年4月1日~2015年3月31日)事業報告、連結計算書類および計算書類の内容、ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果を報告しました。

決議事項につきましては、下記の通りご承認いただきました。

決議事項

議案 取締役9名選任の件

上記の件、多数の賛成をもってご承認いただきました。

※当社ホームページ「株主・投資家情報」の「(株主・債券情報)株主総会」において、候補者別の賛成割合などを開示しております。

取締役監査役

株主様のご承認に基づき、次の役員体制をスタートさせました。

代表取締役社長	北澤 通宏	取締役	安部 道雄	常勤監査役	篠崎 俊夫
代表取締役	奥野 嘉夫	取締役	菅井 賢三	常勤監査役	石原 敏彦
社外取締役	黒川 博昭	取締役	江口 直也	社外監査役	伊藤 隆彦
社外取締役	鈴木 基之	取締役	松本 淳一	社外監査役	佐藤 美樹
社外取締役	佐子 希人			社外監査役	木村 明子

トピックス

1

国内・地熱バイナリー発電設備を受注

当社は、地熱発電設備における豊富な納入経験を活かし、国内外で受注獲得に向けた取り組みを進めており、出光大分地熱(株)滝上バイナリー発電所において発電設備の設計、調達、製作、建設を一括受注しました。

今後も地熱発電事業を通じて、エネルギー課題の解決、低炭素社会の実現に貢献していきます。

【滝上バイナリー発電所】

- ・所在地：大分県玖珠郡九重町
- ・発電容量：5,050kW
- ・稼働開始：2017年3月



完成予想図

トピックス

2

PM2.5の解明に貢献する分析計の発売

大気中のエアロゾル¹に含まれるPM2.5²の発生源や発生要因をより正確に分析する「エアロゾル複合分析計」を発売しました。本分析計を通じて、人の健康に影響を及ぼすことが懸念されるPM2.5の解明および大気汚染防止に貢献していきます。



*1：浮遊粒子状物質

*2：直径2.5マイクロメートル以下の粒子状物質

ホームページのご案内

▶▶▶ <http://www.fujielectric.co.jp>

当社ホームページでは、最新のニュースや製品情報のほか、財務・業績情報や株式情報、富士電機のCSRの考え方や従業員・環境保護・地域貢献の取り組みなど、企業活動情報を公開しています。

富士電機

検索



本報告書の将来についての計画や戦略、業績見通しに関する記載は、作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づくものであり、実際の結果とは実質的に異なる可能性があり、当社はこれらの記載のうち、いかなる内容についても確実性を保証するものではありません。

富士電機株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号(ゲートシティ大崎イーストタワー) 電話 03-5435-7111 <http://www.fujielectric.co.jp>